

思考を繰り返しながら

課題解決力を高める中学校社会科指導の工夫
—パフォーマンス課題を取り入れた単元構想と
学びナビの活用を通して—

長期研修員 五十嵐 千晴

研究構想図

思考を繰り返しながら課題解決力を高める生徒

手立て2 生徒の思考の過程を可視化する 「学びナビ」と「課題解決ステップアップシート」

まとめる

問いを基に思考を繰り返しながら追究してきたことを学びナビを活用し、考えを形成、再構築

追究する

「つかむ」で見いだした問いを基に思考を繰り返す自分の考えを学びナビへ

3. なぜそう言えるのか
どうするべきか
(1, 2を基に判断)

2. なぜ、どうなるか
(事象を比較・関連付けて理由を考察)

1. どこで、どのような、いつ
(事実の確認)

つかむ

課題把握&課題解決に向かう視点となる問いの検討

学びナビ <アフリカ州>

1年 組 番号前

1 単位時間のまとめ
<追究していくこと>

<1時間目>
生徒が検討した追究する視点となる問いを共有し、記述。
→パフォーマンス課題の完成

<2時間目以降>
毎時間、学びナビに自分の考えを記述

課題解決ステップアップシートと照らし合わせて自己の課題解決力を確認

課題解決ステップアップシート
どこまでクリアできたかな?

STEP3 なぜそう言えるの? どうするべき? STEP1, 2を基にして、自分なりの考えをまとめたり、提案したりすることができた。 レベルUP

STEP2 なぜ、どうして?? 調べたことなどを結び付けたり、理由を考えたりしてまとめることができた。 レベルUP

STEP1 どこで、どのような、いつ?? 調べて、分かったことをまとめた。 この課題を解くためには...

この時間のめあて	視点	使った資料	STEP
1 アフリカ州について特徴を学ぶ			予想 OK NO
2			1 2 3
3			1 2 3
4 学びナビを活用し意見を形成しよう			1 2 3

課題解決に向けて繰り返される思考の基となる問い

手立て1 生徒と共につくる 単元を貫くパフォーマンス課題

①. 提示された資料から単元を貫く課題の概要を見いだす

具体的な状況を捉えて思考

④. 完成させた単元を貫くパフォーマンス課題の確認

②. パフォーマンス課題のシナリオの提示及び成果物の検討
(成果物の例 解決に向けて活動していくことを提案する→意見文の作成)

③. 課題解決に向けて追究する際の視点の検討
→どこで、どのような、なぜ など

生徒が常に思考を働かせて課題解決に向かう授業実践が今まで以上に必要

<生徒の実態>

資料から分かったことやそれを基にして考えたことを関連付けて自分の考えを形成したりまとめたりすることが苦手

<国や県の課題>

物事を多面的・多角的に捉えて考察し、表現することに課題(思考力・判断力・表現力の育成)

<教師の願い>

予測困難な時代…。社会的な事象を様々な視点で捉え、考えをもち発信できる生徒に!

<手立て1> 単元を貫くパフォーマンス課題の設定

資料からアフリカ州の追究課題を見いだす

なぜアフリカは貧困の問題を抱えているのだろう

学習活動とシナリオをつなぐ

意見文作成のためにほかに必要な情報は？



- 資料1より
- ・カカオの産出量が多いな
 - ・資源が豊富だな
 - ・バラの輸出が盛んだ
- 資料2より
- ・栄養不足の人の割合が高いな
 - ・乳児死亡率が高いな

追究の視点の検討

なぜ貧困問題が起きている？
どこで発生している？
どのような問題が起きている？
どのようなことができる？

パフォーマンス課題の完成

<手立て2> 学びナビと課題解決ステップアップシートの活用

単元を通して繰り返す思考の基となる問い

思考の過程の可視化

組 番号前

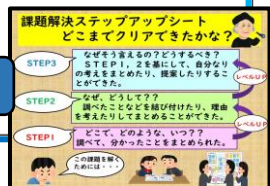
学びナビ <アフリカ州>

<課題> オリンピックに向けて南スーダンの選手団が前橋市で合宿を行い、前橋市の住民を中心に、群馬県民とも交流をしていました、そこで、アフリカについて知らなかったあなたがアフリカについて調べてみると、生活で使っているものがアフリカと結び付いていることを知り、より身近に感じることができました。しかし、同時にアフリカ州が貧困問題に直面していることを知りました。前橋市での取組を知ったことをきっかけに自分たちにも何かできることはないだろうかと考えました。□□□□できるだけ多くの人が関心をもって協力してくれるように（意見文を作成）提案してください。

1 単位時間のみ

<追究していくこと>

毎時間、追究の視点となる問いを意識して思考を繰り返した結果である自分の考えを記述。



課題解決力の確認

生徒Aの記述の抜粋

<2時間目の記述> (STEP2)

乾燥帯は雨が少なく、干ばつが起こることにより砂漠化も進んでいる。砂漠化が進むと食糧不足になる。

<3時間目の記述> (STEP3)

アフリカの経済は特定の農作物や鉱山資源に頼る経済(モノカルチャー経済)をしている。天候不順や不作により収入が得られないなど問題点がたくさんある。解決させるために、援助をしてくれる外国企業などを取り入れる必要がある。

情報を各自精選。思考を整理して意見文の作成へ

追究する

まとめる

この時間のめあて	視点	使った資料	STEP
追究の視点となる問いや資料などを記入。思考の根拠となる情報を整理			予想 OK NO
1			1
2	・どこで ・どのような なぜ ・どのように ・自然環境	・地図帳 P44-④、⑤ ・教科書 ・カード3 ・〇〇のHP	2 3

学びナビをもとにして、意見文を作成しよう。

生徒意見文(一部抜粋)

アフリカ経済は、特定の農作物や鉱産資源による経済(モノカルチャー経済)をしている。モノカルチャー経済の問題点はたくさんあり、天候不順や.....価格が下がったりすると、輸出から得られる国の収入が大きく減ることや.....年によって国の収入が安定しないという問題点がある。これらの課題を解決するためには.....

<意見文作成のためのメモ>

解決するためには 特定の農作物や鉱産資源による経済 (モノカルチャー経済) ↓ 問題点 援助してくれる 外国企業など 取り入れる必要がある

<成果> パフォーマンス課題を取り入れた単元構想や、学びナビの活用によって生徒は追究の視点となる問いを見いだし、それらを基にして、思考を繰り返しながら自己の考えを形成し、再構築することができるようになり、課題解決力を高められた。

<課題> 課題解決力を確かなものにしていくためには、地理的分野のほか歴史的分野、公的分野においても同様の実践を継続的に積み重ねていく必要がある。

<提言> 生徒の課題解決力の向上のために、生徒が課題解決に向けて見通しをもち、追究の視点となる問いを見いだし、それらを基にして思考が繰り返されていく学習活動を積み重ねていけるような授業づくりを心掛けていきましょう。